

「高千穂郷」通信

さあ、白銀の頂きへ。

五ヶ瀬ハイランドスキー場
2022 SEASON OPEN!

2021 2022
12.24 [FRI] ▶ 3.6 [SUN]
AM 8:00 ~ PM 4:30



宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡4647-171
TEL : 0982-83-2144 FAX : 0982-83-2711



木に触れよう！ 木育で羽子板・絵馬・バードコールを作成！



11月13日(土)に、日之影町の癒やしの森運動公園で、光寿保育園(高千穂町)が森林セラピーと木育教室を開催しました。当日は、西臼杵地区林業研究グループや日之影町観光協会の職員らが講師となって、運動公園広場付近の山林散策や、木材端材を使ったバードコール作りなどを行いました。



また、12月4日(土)には、高千穂小学校家庭教育学級の講座として木育教室が開催され、NPO法人みやざきアートセンターの職員2名を講師に招き、みやざきスギを利用した羽子板と絵馬作りを行いました。

どちらのイベントも園児・児童が保護者と一緒に笑顔で参加していました。コロナ禍が一定の落ち着きを見せる中、このように親子で木に触れるイベントを開催することができ、大変良い活動となりました。

小学生の食育・地産地消を推進 ～「食と農」壁新聞コンクール表彰式～



みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵地域支部では、管内小学生の「食と農」に対する関心を深めることを目的に、壁新聞コンクールを平成17年から毎年実施しています。今年度は、延べ187名による24作品の応募があり、7作品が入選しました。

金賞には日之影小学校6年 田崎香澄さんの作品「認定！？世界料理遺産」が選ばれました。作品は、郷土料理や地域の風習について実際に聞き取りや調理をした内容が、詳しく分かりやすくまとめられており、審査員に高く評価されました。

他の作品も、タブレットを使った作品や細かな仕掛けがある作品など工夫を凝らされた作品ばかりで、小学生たちの努力が伝わってきました。

今後も壁新聞コンクールを通じて、西臼杵地域の食育・地産地消の推進に努めていきます。

▶金賞に選ばれた田崎香澄さん（作品「認定！？世界料理遺産」）



子どもを守ろう！～西臼杵地域子どもの貧困対策会議～



12月2日（木）に令和3年度西臼杵地域子どもの貧困対策会議が開催され、子どもの支援に取り組む関係者ら約25名が、西臼杵支庁又はオンラインで参加しました。

子どもの貧困の現状や第2期宮崎県子どもの貧困対策推進計画概要の共有のほか、宮崎大学教育学部附属教育協働開発センターの竹内准教授より、「子どもの貧困と学習支援」とのテーマで御講演をいただきました。子どもの貧困には、経済的課題のみならず複合的な課題がその背景にあります。関係機関と協力した支援を円滑に進めるため、本会議を通じて連携を深めました。

西臼杵ブロック民生委員児童委員研修会が開催されました



12月3日（金）に日之影町役場で、西臼杵ブロック民生委員児童委員研修会が開催され、郡内の民生委員や主任児童委員など関係者約100名が参加しました。

高千穂保健所の和田技師から「新型コロナウイルス感染症と感染対策について」の説明があり、基礎知識と感染対策上の注意点について学びました。

また、九州保健福祉大学の山崎准教授の講演「令和時代の民生委員児童委員活動～民生委員児童委員の相談援助活動の役割と課題～」では、委員活動の基礎となる考え方や原則、役割について解説していただき、その上で、これからの地域共生社会に向けて地域住民や様々な団体と協働して「地域づくり」を目指して欲しいとエールを送っていただきました。

全国茶品評会・日本茶AWARDで上位入賞！



全国茶品評会 釜炒り茶部門3位 飯干敏光氏
(左は奥様のミツ子氏)

11月16日(火)から11月19日(金)まで静岡県で全国茶品評会が開催されました。西臼杵地域は国内有数の釜炒り茶産地であり、これまでに幾度も優秀な成績を収めています。今年度の釜炒り茶部門には108点が出品され、高千穂町の飯干敏光氏が3位に入賞しました。

また、西臼杵地域では烏龍茶・紅茶でも高い評価を受けており、今年度行われた「日本茶AWARD2021」の烏龍茶・紅茶部門において、全国503点の中から五ヶ瀬町の(株)宮崎茶房と高千穂町の甲斐製茶園がプラチナ賞を受賞しました。

釜炒り茶部門で入賞した飯干敏光氏は、「今回の受賞で、より一層生産意欲が増した。来年度は1位を受賞できるように、技術向上に励んでいきたい」と意気込んでおられました。



日本茶AWARD
烏龍茶・紅茶部門
プラチナ賞受賞
(株)宮崎茶房代表取締役 宮崎亮氏



日本茶AWARD
烏龍茶・紅茶部門
プラチナ賞受賞
甲斐製茶園 甲斐雅也氏



地域で生きるとは ～土呂久から学ぶ～



11月11日(木)に全校生徒を対象とした人権学習「地域で生きるとは～土呂久から学ぶ～」が行われました。土呂久公害の概要について、DVDを視聴し、現地で取材したGIAHSアカデミーのメンバーによる取材内容の発表がありました。生徒からは、「土呂久の人々が公害に負けずに強く生きたことを伝えたい」と振り返りがあり、担当教諭は、「人ごとではなく自分ごととして捉え、答えが出なくても考え続けることが大事」と生徒に伝えていました。

土呂久公害の歴史を風化させないよう、高校でのこうした取組を通じて、後世に教訓を語り継いでいただきたいと思います。



大盛況！地域とつながる高千穂高校農場祭！



農場祭が11月13日(土)に高校中庭で開催されました。生産流通科の生徒が栽培した野菜や花、お米、安信茶のほか、焼き鳥や地域のお店とコラボしたフィンランシェ、ジャムなどの加工品も販売されました。また、経営情報科・しろやま支援学校高千穂校の生徒によるバザーも行われ、今年も多くの買い物客で賑わい大盛況でした。

生徒たちは、訪れた地域の方一人ひとりに感謝を伝えながら商品を渡すなど、この農場祭で地域とつながる貴重な経験をしていました。

成人式 新成人、決意新たに

1月4日(火)に高千穂町と日之影町で成人式が行われました。新成人のみなさんおめでとうございます。
(高千穂町：123人、日之影町31人)



下野のイチヨウ

樹種 イチョウ 樹高 34m
幹周 9.60m 伝承樹齢 900年

国指定
天然記念物



(令和3年11月撮影)

高千穂町下野地区にある下野八幡大神社の中ほど、仁王像の横にあるイチヨウ。主幹は地上5mのところから10本内外の枝に分かれていて、樹形はパラシュート形(箒形)に上へと広がっています。宝治元年(1247)に開山した「鶏足寺」の宝信和尚が比叡山延暦寺で修行後、持ち帰り植樹したものとされています。紅葉の時期は葉がとても綺麗に色づきます。

特集！高千穂町の巨木を訪れよう！
下野のイチヨウ・ケヤキ

下野のケヤキ

樹種 ケヤキ 樹高 30m
幹周 9.56m 伝承樹齢 800年



参照みやざき新巨樹100選(一部抜粋)

社殿に向かつて右手にある、あたりを覆いつくさんばかりのケヤキ。ケヤキとしては幹周り県内最大。建久3年(1192)に、大神惟基によつてこの地に神社が造営されたときに植えられたと伝えられています。大きすぎて見上げるのは一苦労ですが、その価値アリです。

アクセス



ぜひ近くで見上げてほしい！

Facebookページ「ウキウキ！好き好き！ニシウスキキ！」
更新中！
西臼杵観光推進連絡協議会公式Instagram

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



「高千穂郷」通信
神話伝説の山里

